2.2.3 クマタカ

クマタカの記録位置を図 2.2.3-1～図 2.2.3-8 に示す。

なお、各月の視野範囲図と累積観察時間図は「2.2.2 イヌワシの調査結果」で示した図と同一であることからこれを参照とする。クマタカを主対象とした調査は平成 24 年 2 月、3 月、4 月、6 月、8 月の 5 回であったが、イヌワシを主対象とした調査（平成 23 年 10 月、12 月、平成 24 年 1 月）でクマタカが確認された場合は合わせて記録した。

(1) [redacted](A)つがい生息域

1) 平成 24 年 2 月調査

- [redacted](A)つがい雌雄の重なりディスプレイ、V 字でディスプレイ、他個体（クマタカ）に対する追い出し行動が確認された。
- [redacted](A)つがいの営巣地付近で若鳥のとまりが確認された。
- [redacted]つがいの行動圏の下流側に、[redacted]つがいとは別のつがい（雌雄 2 羽）の飛翔が確認された。
- 巣 AII・巣 AIII・巣 AIV の出入りは確認されなかった（巣 A I は落巣。調査地点から巣 AV のある谷は観察できるが、巣 AV を直接観察することはできない）。

2) 平成 24 年 3 月調査

- [redacted](A)つがいが雌雄で 2 羽とまり、V 字・波状ディスプレイが確認された。
- [redacted](A)つがいの雌が、<u>巣 AV がある谷に入る</u>（巣 AV の出入りは未確認）。
- [redacted](A)つがいの営巣地付近にとまる若鳥が確認された。

[redacted]A)つがいの 2 羽とまり（雄：上、雌：下）
（平成 24 年 3 月 14 日）

[redacted]A)つがい雄
（平成 24 年 3 月 16 日）

3) 平成 24 年 4 月調査

- 巣 AV の谷から頻繁に出現する[redacted](A)つがいが確認された（巣 AV の谷で営巣の可能性あり）。
- [redacted](A)つがい雌雄 2 羽とまりが確認された。
- [redacted](A)つがい 2 羽が若鳥［[redacted](G)つがい H22 年生まれ］を追い出す行動が確認された。

[redacted]A)つがい雄の追い出し
（平成 24 年 4 月 12 日）
・左：H22 年生まれ若鳥[redacted](G)つがいの子供］
・右[redacted]A)つがい雄

[redacted]A)つがい雄
（平成 24 年 4 月 12 日）

[redacted]A)つがい雌
（平成 24 年 4 月 12 日）

[redacted]A)つがい雌
（平成 24 年 4 月 12 日）

[redacted]A)つがい雌
（平成 24 年 4 月 12 日）

4)　平成 24 年 6 月調査

・ [redacted](A)つがいは確認されなかった。

・ 巣 AV を踏査した結果、巣 AV に雛がいないことが確認された。

・ **巣 AV には今期に運びこまれたと思われる巣材**が確認された。

・ [redacted](A)つがいの繁殖に関する飛翔は確認されなかった。

5) [redacted](A)つがいのまとめ

[redacted](A)つがいの平成 23～24 年繁殖シーズンの繁殖活動の経緯を 表 2.2.3-1に示す。

調査の結果、[redacted](A)つがいの巣 AV で造巣痕跡が確認されたものの、巣 AV に雛がいないことが確認された。巣 AV 以外の場所で繁殖兆候を示す行動は確認されなかった。

表 2.2.3-1 [redacted](A)つがいの繁殖活動の記録

調査実施日			繁殖サイクル（一般例）	[redacted](A)つがい
平成 23 年 (2011)	10 月	18～21 日	巣外育雛期	（調査対象外）
	12 月	13～16 日	求愛期	（調査対象外）
平成 24 年 (2012)	1 月	17～20 日	造巣期	（調査対象外）
	2 月	7～10 日		重なり dp・V 字 dp クマタカ他個体への追い出し 巣 AⅡ・巣 AⅢ・巣 AⅣの出入りの確認なし（巣 AⅠ落巣）
	3 月	13～16 日	抱卵期	2 羽とまり V 字 dp・波状 dp 巣 AV がある谷に入る
	4 月	10～13 日		巣 AV の谷から頻繁に出現する
	6 月	12～15 日	巣内育雛期	巣 AV に雛なし 巣 AV に今季の巣材の痕跡あり
	8 月	6～9 日	巣外育雛期	（調査対象外）
平成 23～24 年繁殖シーズン				巣 AV で営巣痕跡あり。その後、繁殖兆候なし 巣 AⅡ・巣 AⅢ・巣 AⅣで営巣痕跡なし（巣 AⅠ落巣）

注）表中の「dp」はディスプレイを示し、「－」は繁殖活動の記録がなかったことを示す。

(2) [redacted](B)つがい生息域

1) 平成 24 年 2 月調査

・ 成鳥雌雄 2 個体 [redacted](B)つがいと推定〕が成鳥雌雄 2 個体〔[redacted](C)つがいと推定〕に対し、追い出す行動が確認された。

2) 平成 24 年 3 月調査

・ [redacted](B)つがいが雌雄で 2 羽とまり、V字・波状ディスプレイ、若鳥への追い出し行動が確認された。

3) 平成 24 年 4 月調査

・ [redacted]B)つがい（推定）が既存の営巣谷（巣ＢⅠ、巣ＢⅡ）の下流域で確認された（この地域に新たな巣がある可能性がある）。

・ [redacted]B)つがい雌雄の 2 羽とまり、垂なり・V字・波状ディスプレイが確認された。

[redacted]B)つがい雌
（平成 24 年 4 月 12 日）

[redacted]B)つがい雄
（平成 24 年 4 月 12 日）

4) 平成 24 年 6 月調査

・ [redacted](B)つがいは確認されなかった。

・ 既存の巣ＢⅠ、巣ＢⅡを踏査した結果、これらの巣に雛がいないことが確認された。

・ 既存の営巣谷（巣ＢⅠ、巣ＢⅡ）の下流域に新たな巣の確認はなかった（巣ＢⅢの営巣木は倒木）。

・ [redacted]B)つがいの繁殖に関する飛翔は確認されなかった（**営巣兆候なし**）。

5) [redacted](B)つがいのまとめ

[redacted]B)つがいの平成 23～24 年繁殖シーズンの繁殖活動の経緯を表 2.2.3-2に示す。

調査の結果、[redacted](B)つがいのＶ字ディスプレイ・波状ディスプレイ、若鳥への追い出し行動が確認されたものの、その後、[redacted]B)つがいの繁殖活動は確認されなかった。

表 2.2.3-2 [redacted](B)つがいの繁殖活動の記録

調査実施日			繁殖サイクル（一般例）	[redacted](B)つがい
平成 23 年 (2011)	10 月	18～21 日	巣外育雛期	（調査対象外）
	12 月	13～16 日	求愛期	（調査対象外）
平成 24 年 (2012)	1 月	17～20 日	造巣期	（調査対象外）
	2 月	7～10 日		―
	3 月	13～16 日	抱卵期	2 羽とまり Ｖ字 dp・波状 dp 若鳥への追い出し行動
	4 月	10～13 日		2 羽とまり 重なり dp・Ｖ字 dp・波状 dp
	6 月	12～15 日	巣内育雛期	繁殖兆候なし 巣ＢⅠ、巣ＢⅡに営巣痕跡なし
	8 月	6～9 日	巣外育雛期	（調査対象外）
平成 23～24 年繁殖シーズン				繁殖兆候なし。 巣ＢⅠ、巣ＢⅡに営巣痕跡なし。 （巣Ⅲの営巣木は倒木）。

注）表中の「dp」はディスプレイを示し、「－」は繁殖活動の記録がなかったことを示す。

(3) [redacted](C)つがい生息域

1) 平成 23 年 10 月調査

・ 成鳥 [redacted](C)つがいの可能性が高い〕の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

2) 平成 23 年 12 月調査

・ 成鳥 [redacted](C)つがいの可能性が高い〕の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

3) 平成 24 年 1 月調査

・ 若鳥の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

4) 平成 24 年 2 月

・ 成鳥 2 雌雄個体 [redacted](C)つがいと推定〕が[redacted](B)つがいの行動圏に侵入し、成鳥雌雄 2 個体[redacted](B)つがいと推定〕に追い出される行動が確認された。

・ 成鳥 1 個体の V 字ディスプレイが確認された。

成鳥（個体不明）
（平成 24 年 2 月 9 日）

5) 平成 24 年 3 月

・ [redacted](C)つがい 2 羽の同時飛翔、若鳥の飛翔が確認された。

・ [redacted](C)つがいの繁殖に関する飛翔は確認されなかった。

[redacted](C)つがい（性別不明）
（平成 24 年 3 月 15 日）

6) 平成 24 年 4 月

・ [redacted](C)つがいの単独飛翔が確認された。

・ [redacted](C)つがいの繁殖に関する飛翔は確認されなかった。

[redacted]C)つがい（性別不明） （平成 24 年 4 月 10 日）	[redacted]C)つがい（性別不明） （平成 24 年 4 月 12 日）

7）平成 24 年 6 月

- 成鳥雌雄 2 羽［[redacted](C)つがいと推定］の飛翔が確認された。
- 既存の巣ＣⅡ、巣ＣⅢ、巣ＣⅣを踏査した結果、これらの巣に雛がいないことが確認された（巣ＣⅠは落巣）。

8）平成 24 年 8 月

- 成鳥［[redacted](C)つがいと推定］の単独飛翔が確認された。
- [redacted](C)つがいの繁殖に関する飛翔は確認されなかった（**営巣兆候なし**）。
- **巣立ち幼鳥は確認されなかった**。

9）[redacted](C)つがいのまとめ

[redacted](C)つがいの平成 23～24 年繁殖シーズンの繁殖活動の経緯を表 2.2.3-3に示す。

調査の結果、[redacted](C)つがいのＶ字ディスプレイが確認されたものの、巣ＣⅡ・巣ＣⅢ・巣ＣⅣ（巣ＣⅠは落巣）で雛は確認されず、平成 24 年生まれ幼鳥も確認されなかった。

表 2.2.3-3 [redacted]C)つがいの繁殖活動の記録

調査実施日			繁殖サイクル（一般例）	[redacted](C)つがい
平成 23 年 (2011)	10 月	18～21 日	巣外育雛期	（調査対象外）
	12 月	13～16 日	求愛期	（調査対象外）
平成 24 年 (2012)	1 月	17～20 日	造巣期	（調査対象外）
	2 月	7～10 日		V 字 dp
	3 月	13～16 日	抱卵期	―
	4 月	10～13 日		―
	6 月	12～15 日	巣内育雛期	巣 CⅡ、巣 CⅢ、巣 CⅣに雛なし（巣 C I は落巣）
	8 月	6～9 日	巣外育雛期	平成 24 年生まれ幼鳥の確認なし
平成 23～24 年繁殖シーズン				繁殖兆候なし。 平成 24 年生まれ幼鳥の確認なし。 巣 CⅡ、巣 CⅢ、巣 CⅣに雛なし（巣 C I は落巣）。

注）表中の「dp」はディスプレイを示し、「－」は繁殖活動の記録がなかったことを示す。

(4) [redacted](D)つがい生息域

[redacted](D)つがい雄
（平成 23 年 10 月 19 日）

1）平成 23 年 10 月調査

・ [redacted](D)つがい雄、成鳥（個体不明）の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

2）平成 23 年 12 月調査

・ 成鳥 [redacted]D)つがいの可能性が高い〕と若鳥の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

3）平成 24 年 1 月調査

・ 成鳥の雄・雌 2 羽 [redacted]D)つがいの可能性が高い〕の飛翔、成鳥〔[redacted](D)つがいの可能性が高い〕の V 字ディスプレイが確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

4）平成 24 年 2 月調査

・ [redacted](D)つがい雌雄 2 個体と成鳥 1 個体の 3 羽同時飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

[redacted](D)つがい雌
（平成 24 年 2 月 8 日）

[redacted]D)つがい(雄と推定)
（平成 24 年 2 月 8 日）

[redacted]D)つがい生息域に侵入した成鳥
（平成 24 年 2 月 8 日）

5） 平成 24 年 3 月調査

・ [redacted]D)つがい雄の巣 DⅢに出入り、雌のＶ字・波状ディスプレイ、若鳥の追い出し行動が確認された。

[redacted]D)つがい雄
（平成 24 年 3 月 16 日）

[redacted]D)つがい雄
（平成 24 年 3 月 16 日）

6） 平成 24 年 4 月調査

・ 成鳥 1 個体［[redacted]D)つがいと推定］の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

7)　平成 24 年 8 月調査

・ 成鳥 [redacted](D)つがいと推定〕1 羽の飛翔が確認された。

・ **巣 DⅢで造巣痕跡**が確認された。巣 DⅢ直下の地上にクマタカの羽毛が確認された。巣内に雛がいた痕跡がないことが確認された。

・ **巣立ち幼鳥は確認されなかった**。

成鳥[redacted](D)つがいと推定〕
（平成 24 年 8 月 8 日）

8) [redacted](D)つがいのまとめ

[redacted](D)つがいの平成 23～24 年繁殖シーズンの繁殖活動の経緯を表 2.2.3-4に示す。

調査の結果、[redacted](D)つがいの巣 DⅢに出入り、巣 DⅢで造巣痕跡が確認されたものの、巣 DⅢに雛は確認されなかった。巣 DⅢ以外の場所で繁殖兆候を示す行動は確認されなかった。

表 2.2.3-4 [redacted](D)つがいの繁殖活動の記録

調査実施日			繁殖サイクル（一般例）	[redacted](D)つがい
平成 23 年 (2011)	10 月	18～21 日	巣外育雛期	（調査対象外）
	12 月	13～16 日	求愛期	（調査対象外）
平成 24 年 (2012)	1 月	17～20 日	造巣期	（調査対象外）Ｖ字 dp
	2 月	7～10 日		―
	3 月	13～16 日	抱卵期	巣 DⅢに出入り Ｖ字 dp・波状 dp 若鳥の追い出し
	4 月	10～13 日		（調査対象外）
	6 月	12～15 日	巣内育雛期	（調査対象外）
	8 月	6～9 日	巣外育雛期	巣 DⅢで造巣痕跡あり 巣 DⅢに雛の確認なし
平成 23～24 年繁殖シーズン				Ｖ字 dp・波状 dp 若鳥の追い出し 巣 DⅢで造巣痕跡あり 巣 DⅢに雛の確認なし

注）表中の「dp」はディスプレイを示し、「－」は繁殖活動の記録がなかったことを示す。

(5) [redacted](F)つがい生息域

1) 平成 23 年 10 月調査

・ 成鳥 [redacted](F)つがいの可能性が高い〕の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

2) 平成 23 年 12 月調査

・ 若鳥の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

3) 平成 24 年 2 月調査

・ 成鳥〔[redacted](F)つがいの可能性が高い〕の V 字ディスプレイが確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

4) 平成 24 年 3 月調査

・ [redacted](F)つがいの交尾（6 回）、2 羽とまり、V 字・波状ディスプレイが確認された。

5) 平成 24 年 4 月調査

・ 成鳥の単独飛翔が確認された。

・ つがいの飛翔、繁殖に関する行動は確認されなかった（営巣兆候なし）。

[redacted](F)つがい
右翼初列風切羽 8 枚目先端欠け
（平成 24 年 4 月 12 日）

[redacted](F)つがい
（平成 24 年 4 月 13 日）

6) 平成 24 年 6 月調査

・ 成鳥〔[redacted](F)つがいと推定〕の飛翔が確認された。

・ 既存の巣ＦⅠ、巣ＦⅡ、巣ＦⅢに雛がいないことが確認された。

7) 平成 24 年 8 月調査

・ 成鳥 [redacted](F)つがいと推定〕1 羽の飛翔が確認された。

・ [redacted](F)つがいの繁殖に関する飛翔は確認されなかった（**営巣兆候なし**）。

・ **巣立ち幼鳥は確認されなかった**。

8) [redacted](F)つがいのまとめ

[redacted](F)つがいの平成 23～24 年繁殖シーズンの繁殖活動の経緯を 表 2.2.3-5に示す。

調査の結果、[redacted](F)つがいの交尾等が確認されたものの、巣ＦⅠ・巣ＦⅡ・巣ＦⅢに雛は確認されず、平成 24 年生まれ幼鳥も確認されなかった。これらの巣以外の場所でも繁殖兆候を示す行動は確認されなかった。

表 2.2.3-5 [redacted](F)つがいの繁殖活動の記録

調査実施日			繁殖サイクル（一般例）	[redacted](F)つがい
平成 23 年 (2011)	10 月	18～21 日	巣外育雛期	（調査対象外）
	12 月	13～16 日	求愛期	（調査対象外）
平成 24 年 (2012)	1 月	17～20 日	造巣期	（調査対象外）
	2 月	7～10 日		V 字 dp
	3 月	13～16 日	抱卵期	V 字 dp・波状 dp 2 羽とまり 交尾（6 回）
	4 月	10～13 日		―
	6 月	12～15 日	巣内育雛期	巣ＦⅠ、巣ＦⅡ、巣ＦⅢに雛なし
	8 月	6～9 日	巣外育雛期	平成 24 年生まれ幼鳥の確認なし
平成 23～24 年繁殖シーズン				平成 24 年生まれ幼鳥の確認なし。 巣ＦⅠ、巣ＦⅡ、巣ＦⅢに雛なし。

注）表中の「dp」はディスプレイを示し、「―」は繁殖活動の記録がなかったことを示す。

(6) [redacted](G)つがい生息域

1) 平成 24 年 2 月調査

・ 成鳥 1 個体の飛翔が確認された（イヌワシ主対象の調査地点からの確認）。

2) 平成 24 年 3 月調査

・ [redacted](G)つがいの交尾、巣ＧＩへの出入り（2 羽同時）、巣材運び、造巣行動、[redacted](G)つがい雄の餌持ち飛翔、Ｖ字・波状・重なり・つっかかりディスプレイが確認された。

・ 若鳥（[redacted]つがいの平成 22 年生まれ）の飛翔が確認された。

[redacted](G)つがい雄
（平成 24 年 3 月 14 日）

[redacted](G)つがい生息域を飛翔する成鳥（個体不明）
（平成 24 年 3 月 14 日）

3) 平成 24 年 4 月調査

・ 巣ＧＩで[redacted](G)つがいの抱卵、造巣行動が確認された。

[redacted](G)つがい巣ＧＩで抱卵
（平成 24 年 4 月 10 日）

[redacted](G)つがいの H22 年生まれ若鳥
（平成 24 年 4 月 12 日）

4) 平成 24 年 6 月調査

・ 巣ＧＩに雛が確認され、[redacted](G)つがい雌雄による雛への給餌が確認された。

5)　平成 24 年 8 月調査

- 巣ＧＩ付近で[redacted](G)つがい平成 24 年生まれ幼鳥が確認された。

  [[redacted](G)つがいの繁殖成功を確認]

- 平成 24 年生まれ幼鳥の巣ＧＩにとまり、巣ＧＩの上にあった餌の採食が確認された。
- [redacted](G)つがい成鳥（性別不明）のＶ字ディスプレイ、[redacted](G)つがいの生息域に侵入したクマタカ（つがい不明）に対する攻撃、追い出し行動が確認された。

[redacted](G)つがいの H24 年生まれ幼鳥
（平成 24 年 8 月 8 日）

6) [redacted](G)つがいのまとめ

[redacted](G)つがいの平成 23～24 年繁殖シーズンの繁殖活動の経緯を表 2.2.3-6に示す。

調査の結果、[redacted](G)つがいの平成 24 年生まれ幼鳥の確認により、[redacted](G)つがいの巣 G Ⅰで繁殖成功が確認された。

表 2.2.3-6 [redacted](G)つがいの繁殖活動の記録

調査実施日			繁殖サイクル（一般例）	[redacted](A)つがい
平成 23 年 (2011)	10 月	18～21 日	巣外育雛期	（調査対象外）
	12 月	13～16 日	求愛期	（調査対象外）
平成 24 年 (2012)	1 月	17～20 日	造巣期	（調査対象外）
	2 月	7～10 日		（調査対象外）
	3 月	13～16 日	抱卵期	Ｖ字 dp・波状 dp・重なり dp・つっかかり dp 交尾 巣ＧＩへの出入り（2 羽同時） 巣ＧＩへ巣材運び、造巣行動 [redacted](G)つがい雄の餌持ち飛翔
	4 月	10～13 日		巣ＧＩで抱卵、造巣行動
	6 月	12～15 日	巣内育雛期	巣ＧＩに雛あり [redacted](G)つがい雌雄による雛への給餌
	8 月	6～9 日	巣外育雛期	[redacted](G)つがい平成 24 年生まれ幼鳥
平成 23～24 年繁殖シーズン				[redacted](G)つがい平成 24 年生まれ幼鳥を確認。 （巣ＧＩで繁殖成功）

注）表中の「dp」はディスプレイを示し、「－」は繁殖活動の記録がなかったことを示す。

(7) [redacted](E)つがい生息域

[redacted](E)つがいのコアエリア内には工事区域が存在しないため、[redacted](E)つがいを対象とした調査は実施していない。

平成 24 年 1 月、イヌワシ上対象の調査地点からクマタカ[redacted](E)つがいの生息域でクマタカが確認されたことから、以下に整理した。

1)　**平成 24 年 1 月調査**

・　成鳥の V 字ディスプレイを確認した（イヌワシ上対象の調査地点からの確認）。

(8) [redacted]等周辺生息域

[redacted]等の周辺地域には、過去の調査でクマタカのつがいが分布していないことを確認しているが、現時点でクマタカの新たなつがいが分布していないかを確認するために、平成 24 年 4 月と 6 月に[redacted]等の周辺地域を観察地域とする調査を実施した。

1)　**平成 24 年 4 月調査**

・　[redacted]等の周辺地域に新たなクマタカのつがいが分布していないことが確認された。

2)　**平成 24 年 6 月調査**

・　[redacted]等の周辺地域に新たなクマタカのつがいが分布していないことが確認された。

(9) クマタカの調査結果のまとめ

平成 23 年 10 月～平成 24 年 8 月のクマタカの記録位置を 図 2.2.3-9に示す。

クマタカの調査結果のまとめを 表 2.2.3-7に示す。

平成 24 年は、調査対象とした 6 つがいのうち、[redacted](G)つがいのみ繁殖に成功した。

表 2.2.3-7 クマタカの調査結果の概要（繁殖状況：平成 23 年 10 月～平成 24 年 8 月）

調査実施日		クマタカのつがい名						[redacted]周辺
		[redacted](A)	[redacted](B)	[redacted](C)	[redacted](D)	[redacted](F)	[redacted](G)	
H23	12 月 13～16 日	（調査対象外）	（調査対象外）	（調査対象外） ・成鳥の飛翔	（調査対象外） ・成鳥と若鳥の飛翔	（調査対象外） ・若鳥の飛翔	（調査対象外）	（調査対象外）
H24	1 月 17～20 日	（調査対象外）	（調査対象外）	（調査対象外） ・若鳥の飛翔	（調査対象外） ・成鳥 2 羽飛翔 ・V 字 DP	（調査対象外）	（調査対象外）	（調査対象外）
	2 月 7～10 日	・V 字 DP ・重なり DP ・他のつがいを追い出し	（調査対象外） ・他のつがいを追い出し	（調査対象外） ・V 字 DP	（調査対象外） ・成鳥 2 羽で飛翔	（調査対象外）	（調査対象外） ・成鳥の飛翔	（調査対象外）
	3 月 13～16 日	・2 羽とまり **・巣 AV がある谷に入る** ・波状 DP ・V 字 DP ・若鳥の飛翔	・2 羽とまり ・波状 DP ・V 字 DP ・若鳥への追い出し	・2 羽で飛翔 ・若鳥の飛翔	**・巣 DⅢに出入り** ・波状 DP ・V 字 DP ・若鳥への追い出し	**・交尾** ・2 羽とまり ・波状 DP ・V 字ディス DP	**・交尾** **・巣 GⅠ出入り** **・巣材運び、造巣** ・2 羽とまり ・波状 DP ・V 字 DP ・重なり DP ・つっかかり DP ・若鳥([redacted](G)H22 年生まれ)の飛翔	（調査対象外）
	4 月 10～13 日	・2 羽とまり **・巣 AV の谷に出入り** ・若鳥([redacted](G)H22 年生まれ)を追い出す	・2 羽とまり ・波状 DP ・V 字 DP ・重なり DP （既存の巣の下流で飛翔）	・成鳥の飛翔	（調査対象外）	・成鳥の飛翔	**・巣 GⅠで抱卵** ・巣 GⅠで造巣行動	・つがいの確認なし
	6 月 12～15 日	**・クマタカの確認なし** **・巣 AV に造巣痕跡**あり	**・クマタカの確認なし** ・ 既存の巣（BⅠ、BⅡ）に雛なし	・2 羽で飛翔 ・既存の巣（CⅡ、CⅢ、CⅣ）に雛なし	（調査対象外）	・成鳥の飛翔 ・既存の巣（FⅠ、FⅡ、FⅢ）に雛なし	**・巣 GⅠに雛** ・親鳥が雛に給餌	・つがいの確認なし
	8 月 6～9 日	（調査対象外）	（調査対象外）	・成鳥の飛翔	**・巣 DⅢで造巣痕跡**あり	・成鳥の飛翔	**・巣立ち幼鳥を確認**	（調査対象外）
H23～H24 まとめ		**・巣AVで造巣** **・幼鳥確認なし**	**・幼鳥確認なし**	**・幼鳥確認なし**	**・巣 DⅢで造巣** **・幼鳥確認なし**	**・幼鳥確認なし**	**・巣立ち幼鳥を確認** **（繁殖成功）**	**・つがいの確認なし**

※1. 表中の「調査対象外」にクマタカに関する記述があるのは、クマタカを主対象とした調査は実施していないが、イヌワシを主対象とした調査でクマタカが確認されたことを示す。
2. 表中の「dp」はディスプレイを示す。